



2017・7・1

発行：三重県議会議員  
山本りか事務所

県議会議員

# りか通信



## 四日市空襲殉難碑に献花

72年目の6月18日

鶉の森公園内



殉難碑撰文

昭和十六年十二月八日に勃発した太平洋戦争は、ポツダム宣言受諾によって、同二十年八月十五日遂に我が国の敗戦に終わった。

この間、アメリカ空軍重爆撃機B29による日本本土への空襲は日ましに激化し戦禍はとどまるところを知らなかった。海軍燃料廠をはじめ多くの工場群を擁した四日市市も、前後六回にわたる苛烈な爆撃により壊滅的被害を受けた。

わけても最初の爆撃を受けた六月十八日の災禍は惨憺の一語に尽きる。即ち午前零時四十五分頃から約一時間にわたり、B29三十五機の、三万発におよぶ油脂焼夷弾等の絨毯爆撃により市街地は灼熱のるつぼと化し、退路を断たれた多くの市民は、阿鼻叫喚の巷を彷徨した。炎の犠牲となるもの、壕に閉され窒息死するもの、身をかえりみず消火に一命を賭するもの、あわせて八百余名にのぼった。恐怖の一夜が明けると、一望焦土と化した焼跡に、ただ呆然とたたずむもの、未だ硝煙のくすぶる中を、肉親を求めて右往左往するもの、まさに戦争のうんだ悲劇である。

終戦後三十五年を経た今日、各方面の浄財によって、ここに新しく四日市空襲殉難碑を建立しその霊の安らかなることを願い、後世悲惨なる戦争の絶滅を期し、世界永久の平和を祈念するものである。

### 【四日市空襲被災記録】

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 被爆年月日                  | 昭和二十年六月十八日、同二十二日、同二十六日 |
|                        | 同七月九日、同二十四日、同二十八日      |
| 戦災死者                   | 八百余名 重軽傷者 一七三三人        |
| 被災人口                   | 四九、一九八人 被災戸数 一〇、四七八戸   |
| 昭和五十五年六月 四日市空襲殉難碑建立委員会 |                        |

くり返しませんもう二度と。

多くの尊い命と、悲嘆の涙と引き換え手にした  
不戦の誓い「憲法九条」を守り抜きます。合掌

山本りか

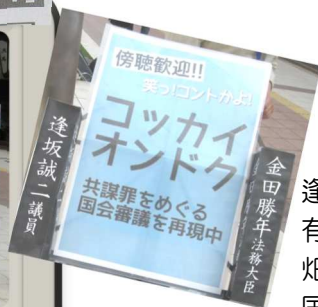
この通信は「日本共産党県議会報告2017夏季号」とセットでお届けしています



6月13日

【平和行進】

市役所～追分駅  
核兵器廃絶を願って  
みなさんと一緒に  
歩きました。



【国会音読】

三交イン前

逢坂議員になったり  
有田議員になったり  
畑野議員になったり  
国会の様子がよくわか  
かる…と評判に。



四日市で保護された  
クロちゃん



5月28日「あすまいる」動物愛護推進センター 視察



6月25日 九条の会・よっかいちの講演会終了後  
【よっかいち市民ネット主催のデモ行進】

りかさポルム 山本りか事務所  
沖の島町郵便局西隣り  
☎・fax 059-350-8010  
月～金曜日 午後1時～3時 桐山さんがいます  
HP <http://rika.jcpweb.net/> FB も見てね



りか・サポ 生活相談 DAY

7月12日(水) 13時～16時

7月20日(金) 13時～16時

ご意見  
お寄せください